

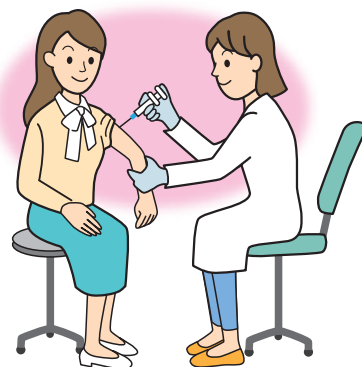
子宮頸がんの原因とされているヒトパピローマウイルス（HPV）は、女性の多くが一生に一度は感染するといわれています。感染を予防するためにはワクチン接種が有効です。

対象者は自己負担なく接種ができ、小学校6年生から高校1年生の女性を対象とした定期接種のほか、HPVワクチンの積極的勧奨が差し控えられていた間に、定期接種の機会を逃された方を対象としたキャッチアップ接種を実施しています。

ワクチンは一定の間隔をあけて、合計2回または3回接種する必要があります。完了するまでに半年程度かかります。キャッチアップ接種を希望される方は、市町村予防接種担当課にお問合せのうえ、期間内に完了できるよう、なるべく早い接種をお願いします。

子宮頸がんは、若い女性がかかるがんの中で多くを占めています。日本では、毎年約1.1万人がかかり、約2,900人の女性が亡くなっています。患者は20歳代から増え始め、30歳代までにがんの治療で妊娠できないようになってしまつ方も年間約1,000人います。

問：市町村予防接種担当課
健康推進課
☎073-441-2657
FAX 073-428-2325



キャッチアップ接種（令和7年3月まで）

対象：次の①及び②に該当する方

- ①平成9～18年度生まれの女性
※令和6年4月以降は、平成19年度生まれの女性も対象になります
- ②過去にHPVワクチンの接種を合計3回受けていない女性

人権連載
こころの
気づき

ジェンダー平等

問 青少年・男女共同参画課
☎073-441-2510
FAX 073-441-2501

ジェンダーとは、生物学的な性別に対する概念であり、社会的・文化的につくられた性別のことです。

ジェンダー平等とは、「女だから」とか「男だから」といった性別の違いをもとにした先入観や固定観念による決めつけや押しつけをなくし、誰もが平等に個性と能力を十分に発揮できることです。

「女性は理系の進路に向いていない」「育児期間中の女性は重要な仕事を担当すべきでない」といった思い込みは、知らず知らずのうちに相手を傷つけたり、差別につながったり、自分自身の可能性を狭めてしまいます。

こういった思い込みは私たちの日常や職場にあふれています。一人ひとりが自分の中にある思い込みに気づき、それにとられない、周囲に押しつけないという意識を持つことが、ジェンダー平等の推進につながります。

和歌山県PRキャラクター

きいちゃんの

わかやまさんぽ



今回は串本町の魅力を「きいちゃん」が紹介！

本州最南端の町から ロケット最先端の町へ

串本町は、ラムサール条約で保護されたサンゴの群落がある美しい海や南紀熊野ジオパークのジオサイト、世界遺産に登録されている熊野古道大辺路など多くの観光資源があります。

新たな魅力は、民間のロケット発射場です。年間20機の打ち上げが計画されています。宇宙ふれあいホール Sorai Miru や串本古座高校に宇宙探求コースが新設されるなど、宇宙を体感できる町として発展が期待されています。

南紀熊野ジオパークセンター



ジオパークの情報発信や調査研究の拠点。子供から大人まで楽しみながら学べ、ジオサイトを巡るジオツアーも定期的に開催しています。

トルコ記念館

熊野灘で遭難したトルコ軍艦エルトゥール号の乗組員を地元住民が救難活動したことでトルコ国との交流が始まり、友好の証として建設された記念館。館内には、遺品や模型、写真などを展示。



日米修交記念館

ペリーの黒船来航より62年も前、レイディ・ワシントン号とグレイス号の2隻のアメリカ商船が大島に上陸。模型や当時の文献などを展示。



お問い合わせは
南紀串本観光協会
☎0735-62-3171

くわしくは
WEBサイト→



きいちゃん
おすすめ
マリナクティビティ
スキューバダイビングや
シュノーケリング、シー
カヤック、SUPなどさま
ざまなマリンスポーツが体験でき、豊かな海を満喫。



キンカン

キンカンは「皮を食べて実を捨てる」と言われ、皮だけを食べるのが普通ですが、串本産のキンカンは実も甘く食べる事ができます。



潮岬灯台

明治6年の初点灯以来、100余年もの間沖行く船を照らし続ける白亜の灯台。階段を上り台の上にいれば、眼下には太平洋の大海原が広がります。